

養蚕普及推進事業



シルバー人材センター会員により、繭から糸を繰糸しています

事業内容について

本市では、平成18年度より浦添市養蚕事業を実施していますが、本年度から、社団法人浦添市シルバー人材センターに事業を委託しています。

本事業の目的は、養蚕業および絹糸製糸業（高齢者雇用）の促進並びに絹織物産業や文化振興の発展を図ることを目的としています。

蚕糸業について

蚕の餌である桑葉を栽培し、その葉を用いて蚕を養い繭を収繭することを養蚕業といいますが、作られた繭から繭糸を繰糸して織物の原料となる絹糸を作りますが、これらの作業を合わせて「蚕糸業」といいます。

今回、本事業では、今までの養蚕業だけでなく蚕糸業までを試験的に行っています（上の写真）。

ここで作られた絹糸は、うらそえ織などの織物を扱っている



浦添市で生産された繭

事業所などに販売することを現在検討しており、一貫した製造から販売までを地域で行うことで地域力を高めるとともに雇用促進に寄与したいと考えています。

特産品の開発

蚕糸業を中心に、桑葉や繭に含まれる有効成分を活用した商品開発などを実施しています。

高齢者及び遊休農地の活用

これらの製造をシルバー会員である高齢者の方々が担うと共に、遊休農地を活用した桑栽培の推進による農業及び緑地の振興を目指しています。

教育・地域への貢献

小学校へのイコの配布や、繭からの糸ひき、繭クラフトの指導などもシルバー会員により実施しています。



繭クラフト

問い合わせ
商工業課 農林水産係
☎876-1234(内線 3164)

浦添の織物 うらそえ織

ひびきえ織

浦添の新たな特産品づくりに向けて、平成18年にスタートした絹織物織子育成事業を卒業した研修生が、「うらそえ織結の会」をたちあげ、織物の制作・販売に取り組んでいます。市においては、結の会と連携をとりながら織物を振興するために普及活動を進めています。

ひびきえ織のひびきえ

「ひびきえ織」は浦添で生まれた繭からひいた糸を一部使用して織物を製作しています。手ひきの糸は、機械でひく糸とは違い、繊維が空気をふくんで丸くやわらかな風合いになります。

結の会では、繭からきれいな糸をひく技術を身につけるため、座繰り（※糸をひく技法）の本場である群馬県から、今年7月に蚕糸の専門家を招いて座繰り研修を行うなど、「うらそえ織」が地域の人の愛され、地域のブランドとして成長していきけるよう、職人同日夜研さんしていきます。



一世帯一品活動

一世帯一品活動とは、浦添市内約43,600世帯の各家庭へ、浦添市の新たな特産品「うらそえ織」を普及する活動です。「うらそえ織」は、ウェア、シヨール、ネクタイ、名刺入れ、印鑑ケース、小物入れなど身近にご愛用いただける商品をご用意しております。

勢理客にある「うらそえ織」工房2階シヨップにて常時展示販売をしています。ペーシ下のサービス券をお持ちいただきますと、全商品5%引きとさせていただきます。うらそえ織「工房シヨップ」へ来店ください。

三線とのコラボレーション

織物独自の商品展開だけでなく、異業種との協力を模索してきたところ、浦添市内の三線店、新城工作所と協力して、三線の胴回り（テーガ）の試作品を作りました。今後は、販売に向けて取り組んでいきます。



うらそえ織のウェア



「うらそえ織」のウェアは、浦添の手ひきの糸を織り込み、二点点がオリシナル製品です。工房2階シヨップと、リウボウパレット久茂地5階紳士服売り場にて販売しております。

ながくご愛用いただくためのこだわりの着は、ジャストサイズのおオーダーメイドがおすすめです。お忙しい方や、お仲間を募つてのご注文には職場やご自宅に「サイズ測り隊」が邪魔して、色々デザインのご要望にお応えいたします。



私達がおうかがいします！
※サイズ測り隊

うらそえ織 展示会 2010

■開催日時
11月3日～11月8日
10:30～19:00 (最終日は17:00まで)

■会場
リウボウホール (パレット久茂地 7F)

〈問い合わせ〉
商工業課 ☎876-1234 内線 3161・3162

うらそえ織 結の会
沖縄県浦添市勢理客1-1-6 (善林堂 2F)
TEL&FAX: 098-878-2544

5%OFF